



1月 給食だより

令和5年12月22日

弟子屈町学校給食センター
弟子屈町美里1-3-2
TEL・FAX482-3204

きゅうしよく れきし こんだて へんせん

1/24~1/30 全国学校給食週間 給食の歴史&献立の変遷



がっこうきゅうしよく きげん めいじ ねん やまがたけん だいたくし
学校給食の起源は、明治22（1889）年にさかのぼります。山形県の大督寺という
てら なか がっこうきゅうしよく べんどう も こ ちゅうしよく むしゅう
お寺の中にあつた小學校で、お弁当を持ってこれない子どもたちに、昼食を無償で
ていきよう はじ こ ぜんこく ひろ せんそう
提供したことが始まりとされています。その後、全国へと広がりましたが、戦争による
しよくりようぶそく えいきよう ちゅうだん
食料不足などの影響で中断されてしまいました。



せんそう お しよくりようぶそく つづ こ えいようじょうだい
戦争が終わっても食料不足は続き、子どもたちの栄養状態
しんぱい がっこうきゅうしよく さいかい もと こえ たか
が心配されたことから、学校給食の再開を求める声が高まり



給食用物資贈呈式

ました。アメリカのLARA
（アジア救援公認団体）から
おく ぶつし つか しょうわ
贈られた物資を使い、昭和22
（1947）年1月に給食が再
かい
開しました。

しょうわ ねん きゅうしよく
昭和22年ごろの給食



だっしふんにゅう かんづめ
脱脂粉乳や缶詰な
ぶつし つか
どの物資を使って
きゅうしよく
給食が
つく
作られました。

トマトシチュー・ミルク



しょうわ ねん きゅうしよく
昭和25年ごろの給食



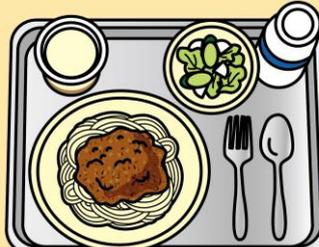
きぞう
アメリカから寄贈され
こむぎこ つか
た小麦粉を使って、
パン・ミルク・おかず
かんせんきゅうしよく はじ
の完全給食が始
まりました。

コッペパン・ミルク・カレーシチュー



しょうわ ねん がつ か ぶつし そうていしき
★昭和21（1946）年12月24日に物資の贈呈式
おこな が行われたことから、この日を「学校給食感謝の
ひ がっこうきゅうしよくかんしゃ
日」としましたが、ふゆやす かさ ししょうわ
冬休みと重なるため、昭和25
（1950）年度からは1月24日～30日を「全国学
ねん ど がつ か ちち ぜんこくがっ
校給食週間」とすることが定められました。

しょうわ ねん だい きゅうしよく
昭和40年代ごろの給食

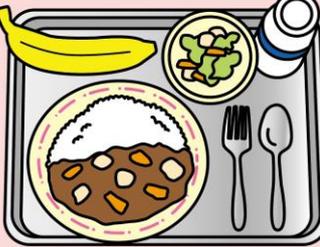


しゆるい ぶ
パンの種類が増え、
るい ていきよう
めん類も提供され
るようになりました。
だっしふんにゅう
脱脂粉乳のミルク
きゅうしよく き か
は牛乳へと切り替
わりました。

ぎゅうしよく
ミートスパゲッティ・牛乳・フレンチサラダ・プリン



しょうわ ねん だい きゅうしよく
昭和50年代ごろの給食



きゅうしよく しゅうしよく
給食の主食はパ
ちゅうしん
ンが中心でしたが、
しょうわ ねん べいはん
昭和51年に米飯が
せいしき どうにゅう
正式に導入され、
こんだて ないよう ゆた
献立の内容も豊かに
なつていきました。

ぎゅうしよく しお
カレーライス・牛乳・塩もみ・バナナ

じだい なが とも へんか つづ がっこうきゅうしよく じだい こ
時代の流れと共に変化を続ける「学校給食」ですが、いつの時代も、子どもたちを
たいせつ おも きも つ おも かん
大切に思う気持ちが詰まっています。そんな思いを感じて、おいしくいただきます。

